



### 生ごみリサイクル 講習会

環境問題委員長

向井 春代

今、私達は、「生ごみの減量化、それを資源として活用する」という大きな課題に直面しています。処理方法として電動処理機、ミミズコンポスト、段ボールコンポスト、EM 密閉容器と色々な処理方法があります。

市女連では、EM 密閉容器による生ごみリサイクルを推進し各地で講習会を行ってきました。耕作地がある地域では、少々手間は掛かりますが、堆肥化した生ごみを畑にもどし、その威力を充分に実感され、私達が理想とする環境の形が実現しています。問題は都市部での処理方法です。生ごみ堆肥は出来ても、その先が見えてきません。…畑はないけど、とにかく密閉容器を使ってやってみよう…都市部の講習会場での発言に、何かヒントが生まれるような気がいたしました。

## \* \* リレー随筆 \* \*

### 「ふれあいバザー」を通して

西区己斐女性会 山田 陽子

私たち、己斐女性会の目標は、地域に貢献できる女性会として、みんなで知恵を出しあい、意見をききながら女性らしく活動しています。地域団体とも共存しながら参加協力していきます。会長さんの“会員の交流”と、“人と人のふれあいを大切に”をモットーに女性会の活動の1つとして7月に「ふれあいバザー」を実施しています。会員さんからの遊休品提供はもちろん、手芸作品の手作りは女性らしくて、会場が明るくなります。

そして、メインはパン・ケーキ教室の方々が焼かれるパンです。焼けるのが待てないくらい早さで売れてしまい、とても人気です。これからも全員で協力しあい、学習と実践を重ねていければと願っています。

### 活動の源は音楽から

西区井口女性会 村上 みや子

我が会の自慢のひとつに年度始めの総会時に開くコンサートがあります。

遠くに出かけなくても、地元の小さな集会所で本物の生の音楽を聴く機会を持ちたいとの思いで始まり十年余り。「教養講座ミニコンサート」と題して、プロの演奏家をお招きし、毎年積み重ねてきました。

これまでに、バイオリン、琴、フルート、ハープ、二胡、マリンバ、シャンソン、津軽三味線など、目の前の迫力ある演奏に感動して、みんなの心がひとつになります。

来年はどんな音楽に出会えるかしら。総会を楽しみに待ちます。年度始めに会員みんなでステキな音楽に触れ、優しい心でつながって、その年の活動がスタートするのです。

### 編集後記

本号発行にあたりまして、年の瀬のお忙しい中、皆様には大変お世話になりました。

取材、寄稿、編集など快くご協力いただき、誠にありがとうございました。

西区女性会



# きょうちくとう



[編集・発行]

広島市地域女性団体協議会

〒730-0052 広島市中区千田町 1-9-43

[発行責任者]

吉岡 恭子

電話(082)243-3274 FAX(082)243-3270

[編集担当]

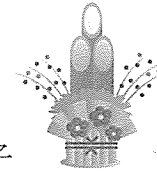
西区女性会

ホームページ: <http://cyberbb.com/hjd/>

## 新年あいさつ



広島市地域女性団体  
連絡協議会  
会長 吉岡 恭子



広島市長  
松井 一實



市女連会員の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年度は市女連の活動にご協力いただき、実りある一年を送ることができましたことに、心より感謝申し上げます。また、東日本大震災募金活動、DV 被害者支援のための、なでしこ募金などにも、多大なるご理解をいただき多くの募金が集まりました。皆様の暖かいご支援に重ねて感謝申し上げます。

昨年を振り返れば、3月11日に起こった東日本大震災という大変な状況の中、地域の女性が力を合わせ周りの人々を支え合いながら懸命に生き抜いている姿が多く見受けられました。その姿を目の当たりにした時、女性の底力を感じずにはいられませんでした。

地域にたく根を張り、地域を支える女性会になることを願って、今年度も学習実践に力を入れていきたいと思ひます。

更に、今年6月には、全国政令指定都市研究会を控えております。皆様のお力添えをいただき、大会を成功させたいと思ひます。一層のご理解とご協力をお願いいたします。

今年度は辰年。躍動を表す言葉だと言われています。今年一年、会員の皆様のますますのご健勝とご多幸を、そして皆様が躍動する年となりますよう祈念し、新年のご挨拶いたします。

明けましておめでとうございます。吉岡会長を始め会員の皆様には、環境問題、男女共同参画の推進、青少年の健全育成や地域におけるコミュニティづくりなど、幅広い分野で本市行政の推進に御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、私は、昨年から広島市政を担わせていただいておりますが、自分の使命は、広島を世界に誇れる「まち」にすなわち、市民の誰もが「広島に生まれ育って良かった」「自分の子や孫たちも、そうあってほしい」と思えるような「まち」に、また、広島を訪れる人々が「広島は良いまちだ」「住んでみたいまちだ」と思ってもらえるような「まち」にすることであると考えています。

そのためには、市民の皆様が日々の生活の中でゆとり、豊かさや安全、安心を実感できるようにすることが大切であり、市民の皆様が真にうるおいを実感できるようなまちづくりを推進したいと考えています。皆様には、広島を世界に誇れる「まち」とするため、引き続き温かい御支援と御協力を頂きますようお願いいたします。

終わりに、広島市地域女性団体連絡協議会が市民の地域活動における先導的な役割を担って、今後ますます発展されますことを祈念いたしまして、新年の御挨拶いたします。

### 青少年赤十字 広島県大会に 参加して



佐伯区石内女性会  
新宅 晴子

平成23年10月22日、日本赤十字看護大学において開催されたJRC(青少年赤十字)広島県大会では、幼稚園児から高校生まで2園、13校から活動紹介がありました。いろんな取組の中で共通していたのは、東日本大震災被災地への支援、励ましでした。園児、児童などは、絵や手紙を送ったり、中高生は募金はもちろん現地へ行って物心両面からの援助を行ったりしてきました。また、韓国青少年赤十字との相互交流など、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という目標通り、気づき、考え、実行している姿をみて、頼もしく思うと共に、大人になってもこの気持ちを忘れないで、と願いつつ、参加者全員で友好の風船を空高く飛ばしました。

### 《市女連文化教室発表会》 ご案内

- 日時 平成24年2月26日(日)
- 場所 広島市社会福祉センター 全館

市女連文化教室の生徒による舞台発表や展示、また女性会による遊休品販売や喫茶などの出店もあります。ぜひご来場ください!!

＊ 女性大会に参加して

(感想文) 中区本川女性会 松井 浩子  
女性パワーの集いであるかの様な(…正にその通り!)大会会場の熱気の中、静かに美しく楚々と登場された高木美保氏の語り口には、自らの体験談をベースにして、流石の説得力がありました。程よく人生を経て来ている我々年代には、大変よく解るお話でした。地球上に生まれ育つ私達人間は、紛れもなく自然の一部そのものであり乍ら、その恩恵なくしては生き得ぬ故の共存意識や、共に大切な存在であるという思いやりを、心柔らかな子ども時代に植え付ける事の意義を、“互いに生命である”の観点から説かれました。

このような思いが良い形で実現される様、共に深く根差した心で人を育てられる社会を見詰めて行きましようとの発信であったと思います。

＊ 環境家計簿の報告を聞いて

安佐北区深川女性会 池田 月美  
世界各国で CO<sub>2</sub> の削減に取り組んでいますが、これは大企業が主にする事として正直関心がありませんでしたが、環境家計簿の報告を聞き驚きました。

CO<sub>2</sub> 排出量が一世帯平均 5.75 トンこれを女性会が目標としている CO<sub>2</sub> 排出量 6%削減を会員一万人が達成した場合金額にして、だいたい 1,671 万円になるそうです。驚きの数字です。

これを機に私も日々の生活の中で CO<sub>2</sub> 削減に直ぐに出来る事から、この冬にむけて取り組んで行き、平素から環境問題や、省エネに関心をもって生活していき、住み良い町になるといいな～と思います。

＜なでしこ募金の報告とお礼＞

今年度女性大会でのなでしこ募金は総額 60,401 円でした。ご協力ありがとうございました。毎年の本大会での募金額は年々増えております。

この募金は毎年 DV 被害者シェルターへ送金しており、生活費等に役立てられているそうです。大変感謝しておられました。DV 被害者はもちろん、その子どもたちのケアまで長きに渡っての支援が必要のようです。これからもなでしこ募金の募金箱をみかけたら、お気持ちを入れてください。



講師・演題 高木 美保「命を感じて生きる」  
開催日時 10月28日(金)13:00~  
開催場所 アステールプラザ中ホール

＊ 女性大会を終えて

(感想文) 実行委員長 菅原 和子  
今年度の広島市女連女性大会では、高木美保氏を講師にお迎えし、「命を感じて生きる」と題して講演していただきました。高木氏は女優の仕事で体調を崩され、ゆっくりした時を過ごすことを思い、ご両親の助言を受けて、今から 13 年前に栃木県那須に移住されました。現代社会はとかく効率重視で、経済的に豊かになるために駆け足になりがちなのは…と話されました。

高木氏は、人間社会の人間のためだけの都合に合わせた時間に疑問を感じ、自然界の命の時間というものに、出来るだけ沿って生きたいと考えて、農園作りを始めたそうです。農園を貸して下さった地元の農家、青虫のためにと雑草を全部むしらずにわざと残した畑、農作業を手伝ってくれる子ども達など、高木氏を取り巻く那須の自然と農村の人々の思いやりは、さまざまな命に対して感謝し、自然に手を合わせて食べ物を頂くことを教えてくれました。そんな農業を通して学んだ命の大切さに加え、社会的地位や学歴が高くても人間力の低い人は平気で畑にごみを捨てるなど、高木氏の見た現実を身振り手振りを加えて、面白く話して下さいました。なお講演と併せて、CO<sub>2</sub> 排出量削減 6%を目標として環境家計簿の集計結果報告も行いました。

大会へのご参加、ありがとうございました。

暮らしのチェック 環境家計簿報告

私たちは、「地球にやさしい環境づくり」をめざし、昨年 8 月から「暮らしのチェック 環境家計簿」の記入に取り組みました。記入するだけで CO<sub>2</sub> が削減するわけではなく、人々が少しでも日々の暮らしの中で電気、ガス、水道などの使用料を減らす工夫を継続することの意識向上を目標としています。

今回、記入参加会員は 435 名。CO<sub>2</sub> 総排出量は 2,212 トン。これを 1 世帯平均にすると、5.57 トン。専門家によると「平均的」ということでした。戸別住宅は、5.67 トンに対し、集合住宅は 4.68 トンと少なめな数字ができました。今年度は 2 年目に入りますが、さらなる削減に向けて、私たちは実践項目について学習する必要があると考えられます。「電気ポットや炊飯ジャーの保温をやめる」「扇風機などを使い、天井付近の暖かい空気を室内に循環させる」「湯たんぽ、ひざかけなどを使用する」など、まだまだ工夫はできるようです。そして、更に詳しい「省エネ診断」にも取り組んでいきたいと思ひます。

これまでは、「電気代を払っていれば何の心配もなく好きなだけ電気を使っていい」と気にしていなかった人たちが東日本大震災と原発の事故を受けて、自分たちの使う電力の量やその作り方に対する意識と関心を持つようになってきました。

次世代に引き継ぐエネルギーと環境のことをしっかり考えていける「まちづくりのリーダー」として、私たちの女性会の存在を示していきたいでしょう。

女性大会アンケート報告 (回答 343 人)

★講演内容理解度

75%	よく理解	18%	だいたい理解
7%	その他または無回答		

★地球温暖化防止の必要性への理解度

44%	よく理解	43%	だいたい理解
13%	その他または無回答		

★地球温暖化防止への活動意欲向上

51%	高まった	37%	少し高まった
12%	無回答		

★地球温暖化防止に向けての取り組み

38%	省エネ(例:節電、緑のカーテン活用)
37%	ゴミ減量(例:コンポストの利用)
20%	生活習慣の見直し(例:早寝早起き・環境家計簿で意識)
5%	無回答

広報誌「きょうちくとう」アンケート報告

(回答 345 人)

★「きょうちくとう」を知っているか?

96%	知っている
4%	知らない、または無回答

★読んだことがあるか?

95%	読んだことがある
5%	読んだことがない、または無回答

★意見・感想

- ・記事を読んで、勉強になる
- ・活動内容が分かり、参考になる
- ・パワーを感じる
- ・楽しく読んでいる、ずっと続けて欲しい
- ・とても大切な内容が書かれているなどの感想をいただきました。

その反面…

- ・内容がマンネリ化して、物足りない
- ・関心がない
- ・必要ない などのご意見もありました。

DV加害者について考える

日時 平成 23 年 11 月 25 日(金) 13:30~  
場所 広島市社会福祉センター 2 階ホール

安佐南区山本女性会 谷川 豊子  
男女共同参画の一環として今回、初めて DV の「被害者」ではなく、逆の立場にある「加害者」について考えると題して、広島大学ハラスメント相談室准教授、北仲 千里先生の研修会に参加しました。

その中で、DV 加害者って、そんな人??と再認識することがありました。それは、

- ・子どもの頃の記憶(親の暴力をみて育つ)
- ・女性蔑視(女性は思い通りになる所有物)
- ・男としてのプライド(負に対する恐怖)
- ・強い上下関係(ささいな理由でキレる)
- ・相手が悪い(自分が誤った事をしていとは、決して思っていない) など…

己の弱さをすべて暴力でごまかすという悲しい現実でした。

ショックだったのは、これを普通の人が日常的に繰り返しているということです。

「力を持った者が強い」と主張する加害者に社会や地域が声を大にして取り組まなくてはならないと感じました。